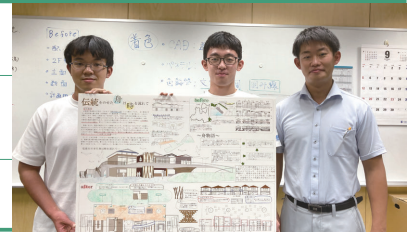


ベスト8・審査委員長特別賞

伝統をのせた舟は時を流れて

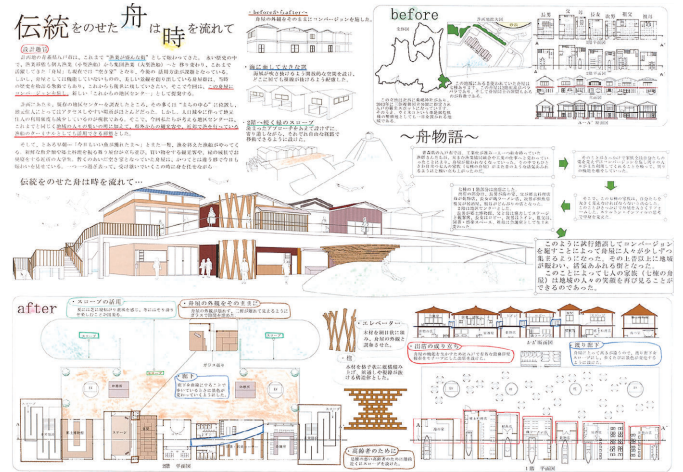
青森県 | 青森県立八戸工業高等学校 選手…3年生2名[男子2名]



この計画はももとの八戸らしさを取り戻そうという意図から、海に面した舟屋数棟を利用して、その2階を地区センターとする提案である。形態が小型・個人から大型・集団漁業に変わり、空き家となった舟屋7棟の再活用を目論んで、1階を家族がさまざまな種類の店舗を経営し、海から出入りする漁船からの新鮮な魚を加工して提供し、その2階はさまざまな機能を持つ地区センターとして、設けた緑のスロープで繋げ活用しようというもの。1階は海鮮市場の小型版を思わせるが、この案がユニークなのは小型漁船の出入りと店舗が直接連動していることだ。

果たして地区センターとして成立できるかという危惧を提案者も抱いているようだが、漁業の盛んな八戸の生業を踏まえた提案として面白い。他の地区センターの提案の多くが、ストーリーを描いた後の実現は行政任せという中で、住民の中で生み出し支える仕組みを考えたところがいい。そこから始める気概こそ計画のはじまりに違いない。

映像では補完されていたが、惜しむらくは海と陸の接点にありながら、その空間的な魅力がアピールできていないことだ。海と漁船が出入りする舟屋の新しい地区センター、広い海と陸を繋ぐ全体断面図が欲しい。



自分たちの描いた空間的な魅力が表現されていないのは残念である。

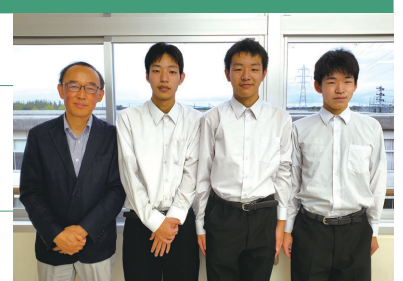
(片山)

ベスト8・教育・事業本委員長特別賞

SENZIEの森

(忘れられた暮らしのあり方 先人たちが創ってきた暮らしの知恵と文化)

新潟県 | 新潟県立新津工業高等学校 選手…3年生1名、1年生2名[男子3名]



この案は、地域のコミュニティ創出の場を里山調査、文献調査、保存と継承、先知恵の4つのテーマから、作風の核をつくりだしています。

各建物にそれぞれ伝統工法を用いたデザインは興味を持ち集落的な表現がなされてとても良いのですが、全体パースでもっと力強く表現してもらいたい感があります。

提案された地域および敷地設定は、人と自然と建築が共存できるような地区で、周辺集落もあり、住宅地も多い設定と思います。

そこで、災害時には地区センターが避難所となり、傾斜を利用した地下駐車場を計画して、そこにも災害時には多くの人を受け入れることができることも大変良い使い方だと思いますが、計画の中にもう少し明確な表現をしてもらえれば、良かったと思います。

作品タイトル「SENZIEの森」がもっている作品表現は、良く出ていると思います。4つのテーマを掲げ、それぞれを融合させた作品であり、高校生がこれからの建築に向き合うモチベーションを感じさせられ感動しました。教育・事業本委員長特別賞受賞おめでとう。(竹江)

